北海道地域福祉学会 2020年度全道研究大会

大会テーマ：災害時における地域福祉の展開と視点

生活再建を支える基盤整備

保健福祉医療の連携

災害ソーシャルワーク

包括的・重層的支援

災害ケースマネジメント

被災者の生活支援

被災者見守り・相談支援

個別支援から地域支援へ

2020年12月20日（日）オンライン開催

詳細は右の QR コードからご確認ください

主催：北海道地域福祉学会　共催：日本地域福祉学会北海道部会

後援：社会福祉法人北海道社会福祉協議会、一般社団法人 Wellbe Design

基調講演

災害ケースマネジメントと地域における被災者の生活支援の展開・視点・課題

菅野　拓 氏（京都経済短期大学講師 / 大阪市立大学都市研究プラザ特別研究員）

京都経済短期大学経営情報学科専任講師。大阪市立大学大学院文学研究科後期博士課程単位取得退学。博士（文学）。専門は人文地理学、都市地理学、サードセクター論、防災・復興政策。近著に『つながりが生み出すイノベーション―サードセクターと創発する地域―』（単著、ナカニシヤ出版）。最近の主な委員として復興庁「多様な担い手による復興支援ビジョン検討委員会」ワーキンググループメンバー、厚生労働省・内閣府「医療・保健・福祉と防災の連携に関する作業グループ」参考人。

当日のプログラム

10:00~12:00	自由研究・実践活動発表
12:00~13:00	休憩
13:00~13:35	地域福祉優秀実践賞授賞式
13:35~13:45	開会・基調講演
15:00~16:30	シンポジウム
16:30~17:00	実践質疑応答・閉会

詳細は QR コード、または、
学会 Web サイト（http://www.hacd.jp）でご確認ください。

シンポジウム

平成30年7月豪雨における災害ケースマネジメント ～岡山県被災者見守り・相談支援事業の実践～

佐賀 雅宏 氏　（倉敷市社会福祉協議会地域福祉課課長 / 倉敷市真備支え合いセンターセンター長）

椿原　恵 氏　（岡山県社会福祉協議会地域福祉部地域支援班総括生活支援員 / 岡山県くらし復興サポートセンターコーディネーター）

参加費

会員：500 円、非会員：1,000 円、学生（院生除）：無料

※会員区分は「北海道地域福祉学会員」若しくは「日本地域福祉学会員」となります。

定員

100 名

※定員を超過した場合は先着順にお受けいたします。

お問い合わせ

info@hacd.jp　011-801-7450（一般社団法人 Wellbe Design）

留意事項

開催要綱に記載の留意事項を確認の上、お申込みください。

参加までの流れ

・参加やお申込み方法がわからない方
・複数人同時にエントリーする場合
・請求書が必要な方　などは

上記に（なるべくメールで）
お問い合わせ願います。

12月 11日まで

エントリー&支払い
（定員 100 名）

12月 15日頃

ID
PASS

ミーティング
ID・PW の受理

当日 12月 20日

参加
音声はミュート設定